



週報

Rotary



RI 2720 OITA JOSAI

大分城西ロータリークラブ

クラブスローガン「新たな時代へ！ともに考え、行動し、楽しもう！」

2019▶2020 第2回例会 7月10日 No.1382

会長／寺崎 直史
幹事／衛藤 祐介



国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
第2720地区ガバナー
瀧 満
大分第4Gガバナー補佐
岩崎 哲郎

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

◆ 本日のプログラム

12:30 点 鐘

ロータリーソング	「まわせ歯車」
ゲスト・ビジターの紹介	寺崎 直史 会長
会長の時間	寺崎 直史 会長
出席報告及び幹事報告	衛藤 祐介 幹事
ロータリー情報	R情報担当委員
委員会報告	各 委 員 会
スマイルボックス	親 睦 担 当 委 員

13:00 卓 話

中山 省吾 会員
「変化する不動産屋さん」

◆ 幹事報告

- 大分市内9RC合同ロータリーデー開催のお礼
当番クラブ（大分RC）よりロータリーデー開催のお礼と収支報告が届きました。
当日の募金総額 141,629円、米山バザー売り上げ 51,320円
- 日本のロータリー100周年記念ピンバッチ 頒布ご協力をお願い
ロータリーの友6月号にも掲載していましたが、日本のロータリー100周年実行委員会より「記念ピンバッチ」頒布についてのご協力のお願いが届きました。

◆ 委員会報告

- 30周年実行委員会 佐藤憲幸会員
30周年記念事業として野田恭子・あすかさんの講演会・ミニコンサートに決定。
来年4月25日(土)にコンパルホール1Fの文化ホールで開催。
会員のみなさん！今後開催に向けて楽しく活動していきましょう！
- 青少年委員会 村上智貴会員
毎年6月最終週末に催される地区ローターアクトクラブの研修会・卒業式に参加しました。
各クラブの活動発表や来季に向けたセミナーなどアクトだけで運営する活気のあるものでした。それぞれクラブごとの特性があり、例会や会費のことなど具体的に効率よく知ることができました。
その上で、城西がアクトを提唱する手順としては以下のように考えました。
すみれ学級に参加している大分大学生を誘って、大分または大分中央のローターアクトクラブに所属してもらい、半年から1年ほどHow-toを学んだ後に方向性を定めて、大分大学の学生を中心としたローターアクトクラブを立ち上げる。例会場は大学内の施設を使わせてもらえればと考えている。

◆ 今後の例会予定

- 7月17日(水) 米山奨学生 朴 肇妍さんの卓話
- 7月24日(水) おおいた動物愛護センター
所長 佐伯 久さんの卓話

◆ お知らせ

- 7月13日(土) 青少年奉仕セミナー

◆ 会長の時間(7月3日)

会長 寺崎 直史

いよいよ2019～2020年度が始まりました。本年度会長を務めることになりました。ロータリー歴はまだ6年半とロータリアンとしてはまだまだ未熟ですが、これを成長の機会と受け止めて、精一杯ロータリーを学んでいきたいと思っています。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

会長の時間のテーマとしては、ロータリーに関する内容を中心として、私の職業である法律に関する事柄や時事に関する事柄などを、徒然なるままに話したいと思っています。

本年度の所信表明については、卓話の時間で時間を頂いているので、後ほどお話ししたいと思います。

さて、本日は7月3日ですが、7月7日は何の日でしょうか。七夕の節句です。願い事を書いた短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残っています。

先日、廣瀬前会長のお店で買い物をしたところ、応募券をもらいました。その応募券は、七夕にちなんで、自分が欲しい品物を書いて、当選者には7月7日にその品物が届くという企画でした。

私の子どもたちも思い思いに自分が欲しい品物を楽しそうに書いていました。子どもの頃は、短冊に願いを書いて飾ったりしていましたが、大人になってからは七夕に触れる機会をなくなっていたので、日本の季節の節目である節句を思い起こすとても良い機会となりました。

あっという間に2019年も半年が過ぎました。お正月には気持ちを新たに目標を定められたと思います。上半期が過ぎましたので、この機会に振り返り、あと半年の目標や願い事を定められたらいかがでしょうか。

私の七夕の願い事は、30周年という節目の年に会長を務めることになりましたので、会員の皆さんと一致団結して楽しみながら、30周年の行事をやり遂げ、将来に向けて、魅力あるクラブ作りをし、1人でも多くの仲間を増やし、1年間健康で会長職を全うすることです。ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

出席報告	7月3日(先週)					6月19日			
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター	会員総数	出席率	補填数	修正出席率
	25名	18名	75.00%	0名	0名	26名	88.00%	3名	100%

◆ 週報編集担当者 ◆

7月 高木 昭信
8月 伊藤 秀海
9月 工藤 隆

第1回理事会(2019年7月3日)

1 プログラムについて

8月28日 夜例会(立川新入会員歓迎会)と9月4日の佐藤憲幸会員卓話を入れ替える。8月28日に紹介者の武居会員が不在のため。

9月の例会で、井上礼子氏(元大分県職員 部長)に卓話をお願いする。

職場例会について 太陽の家ミュージアム訪問はどうか
来年度8月にドラムタオ夏フェス(久住)
11月位に、森林浴で男池からソババックを歩く
来年度8月にドラムタオ夏フェス(久住)
に行ったらどうか

2 すみれ学級より法人会員依頼→会員個別で対応する それぞれ個人でしているので、クラブでする必要があるか検討する。

3 規定審議会の改定に伴う出席報告について→継続審議 年度内であれば、メイクアップをしたかどうか忘れてしまふ。

今まで通り例会前後2週間にする規約をつくるか検討する。

他のクラブの例会内容が事前に分かれば、メイクアップに行きやすいが、そのようなシステムは作れないか。

4 ロータリーデーのメイクアップ対象について→対象と することで承認

点鐘が無いイベントは例会と認められないのではないかな。
他のクラブに準じて、メイクアップとしても良いのでは。

5 ガバナー公式訪問について

議題通りで承認

6 新年度予算について

予算案を承認

なお、30周年事業のため、スマイル繰越金より30周年特別会計へ100万円の繰り入れを承認

会長挨拶

会長 寺崎 直史

「新たな時代へ！ともに考え、行動し、楽しもう！」

令和という新しい時代に入り、当クラブ30周年という節目の年度に会長を務めることになりました。ロータリー歴6年半という未熟ロータリアンですが、この機会にロータリーについて深く学び直し、ロータリアンとして成長したいと思います。

30周年年度の会長として、まずは、30周年に関連した記念事業、イベント、式典等を会員みんなで話し合い、知恵を絞り、参加した方々に喜んでもらえるように努力して参りたいと思います。

今年1月に開催された大分第4グループIMでは、「5年後のクラブ」について、衛藤幹事を中心にアイデアを出し合って発表した結果、最終優秀賞を頂くことができました。

その発表では、①グローバル補助金を利用してケニアに医療支援を行うこと②大学生を中心としたローターアクトを設立すること③会員数を50名とすることを掲げました。

目標を掲げることは大事ですが、実行しなければ意味がありません。クラブ全員で、有言実行を決意して、実行に移して行きたいと思っています。

今年度は、①を30周年記念事業として実行します。今年の3月にケニアを訪問して、スラム街での巡回診療の必要性を実感しました。グローバル補助金の申請は未知の世

界で分からない事もたくさんありますが、必ず実現したいと思います。

③会員増強に関しては、今年度は会員数25名でのスタートとなります。会員を倍増させるためには、魅力あるクラブ作りが重要だと思いますので、色々工夫を凝らしたいと思います。ロータリーの魅力を発信して、100名の方に声をかけて10名入会してもらうことが目標です。

今年度のRI会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。私もロータリーに入会して、たくさんの素晴らしい方々とつながりました。活動する世界や視野が広がりました。

当クラブのこれからの10年に向けて、ロータリーを通じて多くの仲間を増やし、地域や国際社会で継続的な奉仕活動ができるように全力を尽くして行きたいと思っています。

幹事挨拶

幹事 衛藤 祐介

2019-20年度の幹事を仰せつかりました。今年度の寺崎会長のスローガンは「新たな時代へ！ともに考え、行動し、楽しもう」です。

若い寺崎会長を補佐して、実り多き1年となるように幹事の職を全うしたいと考えています。

先日の中津市での「会員増強セミナー」で興味深いお話を伺いました。

RI第3ゾーンロータリーコーディネーター 穴井氏の講演です。

穴井氏は「ロータリーの目的は次の3つのうちどれでしょう？」という質問から始まりました。

1 職業奉仕

2 会員同士の親睦

3 職業奉仕と会員同士の親睦

全員3を選びました。もちろん私も3に挙手しました。

しかし、これは日本人の考え違いで、正解は1だそうです。

Fellowship through ServiceのFellowshipを親睦と誤訳したためだそうです。fellowshipは「仲間意識」{同志愛}でありfriendship「親睦」とは意味が違うということでした。

奉仕あつてのfellowshipなのです。

これに関しては、会員の方々それぞれの意見もあると思いますが、ロータリー経験の浅い私にとっては十分説得力のある言葉でした。

さて、今年度は「行動するクラブ」ということで、30周年事業やグローバル補助金事業等、多くのビッグプロジェクトが目白押しです。

行動するクラブは、私にとって理想です。クラブが行動するためには、会員一人一人が行動しなければなりません。そして行動するためには会員数の確保が必要不可欠となってきます。掛け声だけの会員増強はやめて、会員が一人ずつ入会者を連れてくる「行動」を起こしましょう。

良く聞く話に「楽しい例会にしなければ会員が参加しない」と言われます。しかしそれは逆であり、会員一人一人が、例会やプロジェクトを楽しくしていこうと考えなければなりません。

今年度は、受け身や傍観の会員ではなく、参加し行動する会員となるようにお互い協力してクラブ運営に臨みましょう。

これから1年間、非力ながら精一杯幹事の務めを果たしたいと考えていますので、よろしくお願いします。